



# ポータルを使用した VNF および VM のリカバリ

- [ポータルを使用した VNF および VM のリカバリ \(1 ページ\)](#)

## ポータルを使用した VNF および VM のリカバリ

ESC ポータルを使用して VNF と VM の手動回復を実行できるようになりました。

### 手順

**ステップ 1** [展開 (Deployments)] を選択します。

**ステップ 2** エラー状態の展開を選択します。

VM レベルのリカバリでは、[VNF の表示 (View VNFs)] ページからエラー状態の VM を選択します。

**ステップ 3** [VNF の回復 (Recover VNF)] または [VNF のモニタと回復 (Monitor + Recover VNF)] をクリックします。

**ステップ 4** [OK] をクリックして確定します。

**ステップ 5** [リカバリアクション (Recovery Action)] ドロップダウンからリカバリアクションを選択し、[OK] をクリックします。

次のリカバリアクションを使用できます。

- [デフォルト (Default)]: データモデルで定義されたリカバリアクションをトリガーします。
- REBOOT\_ONLY
- REDEPLOY\_ONLY
- REBOOT\_THEN\_REDEPLOY

リカバリオプションの詳細については、[リカバリポリシー](#)を参照してください。

---

## 重要なポイント

1. 設定可能な手動回復は、実行中のトランザクション動作をサポートしていません。したがって、設定可能な手動回復中にフェールオーバーが発生すると、手動回復は事前定義されたリカバリアクションで再開されます。
2. 展開の移行では、デフォルトのリカバリポリシーを使用します。LCSベースのリカバリでは、VM/VNF 手動回復のリカバリアクションは提供されません。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。